

淑女検定

☑ チャレンジテーマ 複音ハーモニカ

新しい一年の幕開け。「今年こそ何か始めたい」という人へおすすめしたいのが複音ハーモニカ。奥深く哀愁ある音色は、世界中で愛されている。ポケットにはハーモニカ。そんな大人にちょっと憧れる。

SBS学苑
バルシェ校

今月の先生



【複音ハーモニカ】講師

栗田満穂 くりた まほ

ハーモニカ振興会講師

懐かしい音色のハーモニカ。小さいけれど表現力豊かな楽器。入門から上級者まで決め細やかに指導

SBS学苑 バルシェ校
INFORMATION

2/11(月+祝) 10:30~12:00

心に響く ペットトーク

講師/岩崎由純
(日本ペット普及協会代表理事)

受講料/3,348円(管理運営費込)

魔法のような言葉の力でやる気を引き出す語法。感動的な逸話とともに心に響く励ましの言葉。

【お問い合わせ・お申し込み】

Tel.054-253-1221

問題 1 二段構造で吹きやすく作られている複音ハーモニカ。どんな特徴がある？

- A. ドレミファの順に並んでいない
- B. 1本でどんな演奏もできる
- C. スライドレバーが付いている
- D. 自動演奏する



問題 2 複音ハーモニカの楽譜の特徴とは？

- A. イラストが描かれている
- B. 数字で表している
- C. 楽譜はなく耳で覚える
- D. 聴き取って手書きする



問題 3 複音ハーモニカはどんな音が出せる？

- A. さざ波の効果音
- B. 猫の鳴き声
- C. トランペット
- D. バイオリン



正解 & 解説

問題 1 → 正解 A

初心者が音を出しやすい複音ハーモニカ。音はドレミファの順に並んでいない。吹く音、吸う音が交互に配列されている。「最初は混乱するかもしれませんが、覚えてしまえば吹きやすいですよ」と栗田先生。キーごとに機種が異なるため、複数のハーモニカが必要となる。#(シャープ) やb(フラット)の音が出せるスライドレバー付きハーモニカは「クロマチックハーモニカ」。難易度が高く上級者におすすめ。

問題 2 → 正解 B

ハーモニカ教室に入ってまず驚くことは、楽譜が数字であること。数字譜といい、ドレミを「123」で表現する。大正琴などでも採用されている記し方で、五線譜が読めなくても演奏できる。複音ハーモニカは長音階と短音階それぞれ12種類ずつ、合わせて24種類ある。曲によっては二つ同時に持って吹いたり、途中で持ち替えたりすることもある。

問題 3 → 正解 D

複音ハーモニカは、奏法によってさまざまな音が出せることでも知られる。バイオリン奏法は、口をすぼめて揺らすことで、バイオリンのようなビブラートを掛ける。震えるような哀愁ある「トレモロ」で、マンドリンのような音も出せる。ベース奏法では舌と口の動きでメロディーと「ズンチャ、ズンチャ」という伴奏を同時に演奏することもできる。「1年もたてば吹けるようになっていきますよ」と栗田先生は話す。